



TOBU 東武インターテック

東武鉄道をご利用いただくお客様への「安全・安心・快適な車両の提供」が使命です。

passion for safety ~ 安全に対する熱意 ~

当社は、東武鉄道が保有する約1800両の車両のメンテナンスを委託されており、車両の徹底的な分解検査等により、お客様への「安全・安心・快適な車両の提供」に努め、鉄道輸送の安全の一翼を担っています。

車両保守のプロフェッショナル集団として、社員一人ひとりの柔軟な発想と行動力により品質ならびに技術力の向上に努め、全社員一丸となって、お客様により一層の安全・安心と快適性をお届けできるよう取組んでおります。

※ 南栗橋工場では、東武鉄道以外の一部鉄道会社の主電動機および電動空気圧縮機のメンテナンスも受託しています。

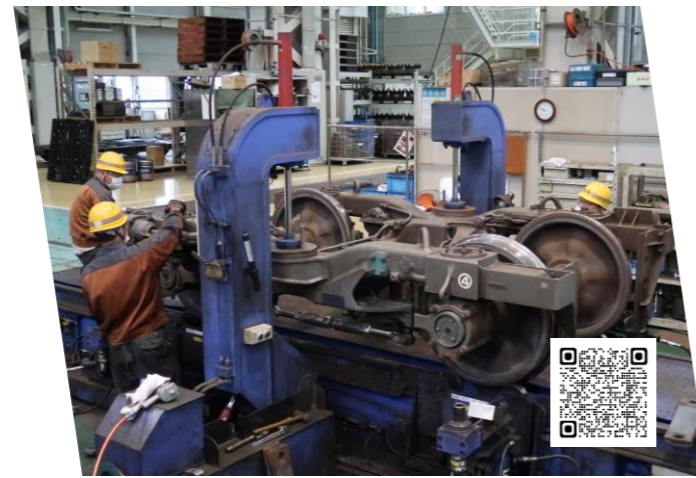


環境にやさしい車両工場

東武インターテックでは、東武鉄道と協力して、南栗橋工場において環境負荷の低減に対する自主的な取り組みを認証する国際規格「ISO14001」を2005年に取得し、継続的な環境活動に取り組んでいます。また、南栗橋工場には、日本の鉄道で初めて、排水のリサイクル設備を導入しました。この装置では車両洗浄で使用した排水のほか、雨水も取込み、再び車両洗浄水などに利用できるように処理しています。そして、工場内ではこの循環水を活用し、水道水の使用を抑えており、環境にやさしい工場になっています。

車両技術のプロフェッショナルとして、すべての鉄道車両の安全を担う。

台車職場



電車の走行装置である輪軸と輪軸を支える台枠等の点検・整備をしています。

回転機職場



電車が走行する動力である電動機（モーター）、室内灯等の電気を作り出す電動発電機、ブレーキやドアの開閉に必要な圧縮空気を作り出す電動空気圧縮機の点検・整備をしています。

電機職場



電車の速度を制御する主制御器や電気の流れを切り替える断流器等の点検・整備をしています。

空制職場

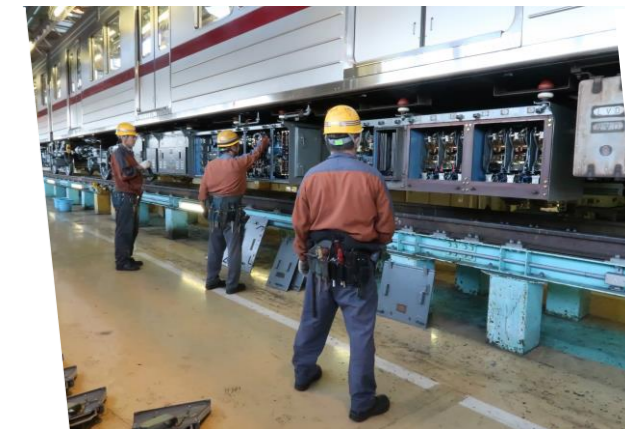


空気の圧力でブレーキを制御する空制弁やドアの開閉に使用する戸閉装置等の点検・整備をしています。

工場管理



品質管理



車両技術

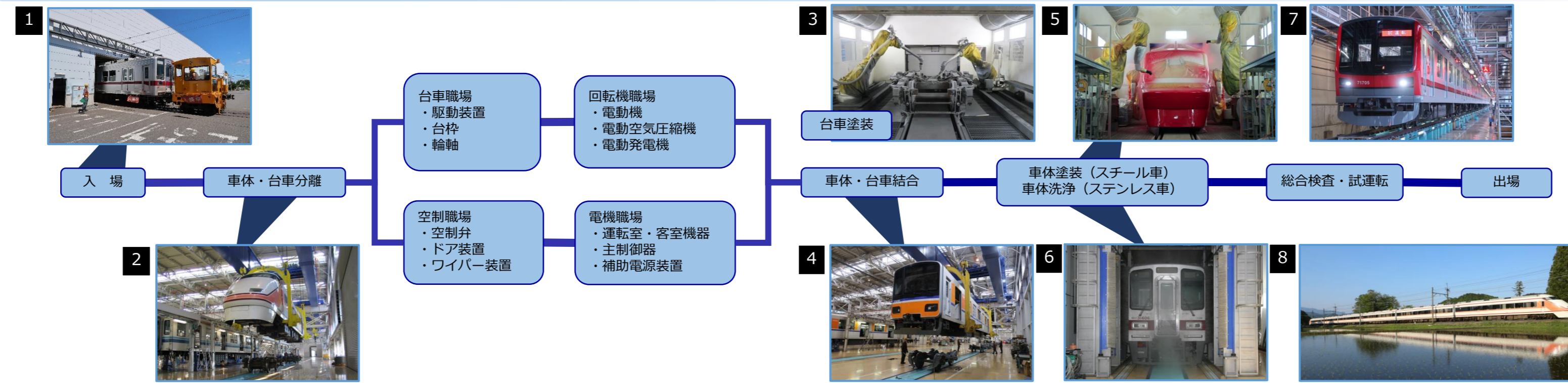


技術管理



工場では、4職場以外にも様々な仕事があります。故障が発生した場合、原因究明・調査・対策を行う技術管理、工場の入場車両の工程、工場設備を管理する工場管理、職場で整備を終えた車両の最終検査をする品質管理、電子部品の「はんだ不良」（クラック）などの修繕・更新を行っている車両技術があります。会社全体で社員一人ひとりがお客様の安全・安心を支えています。

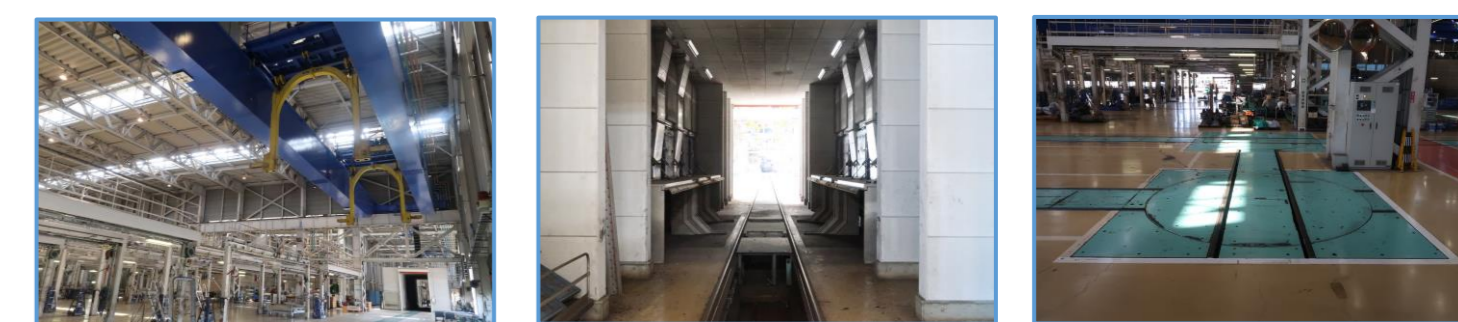
検査工程



工場では、重要な装置の検査や部品一つひとつまで分解して点検・整備する全般検査、重要部検査を行っています。部品単位での作業となるため、台車・回転機・電機・空制の4職場に分かれて、各職場のエキスパートが作業を行っています。整備された車両は検査線で多岐にわたる試験を行い営業線へ出場していきます。

- 1 入場
工場に入場する車両を入換機（アント）で工場棟へ入れます。
- 2 車体・台車分離
クレーンを使用し台車と車体に分離させます。
- 3 台車塗装
整備を終えた台車を塗装ロボットで塗装します。
- 4 車体・台車結合
整備が終わった車体と台車をクレーンを使用し結合させます。
- 5 車体塗装
8000系や100系などの車両は塗装ロボットで塗装します。
- 6 車体洗浄
10000系や50000系などの車両は洗浄機で洗浄されます。
- 7 総合検査・試運転
整備された車両は多岐にわたる検査をし最後に試運転をします。
- 8 出場
試運転を終えた車両は営業線へ出場していきます。

工場設備



工場は、様々な設備によって作業がしやすい環境になっています。クレーンやターンテーブルをはじめ、台車の自動搬送装置や主電動機の無人搬送装置など重量物である電車部品の搬送をオートメーション化しています。

メモ欄

